

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	唐津市立打上小学校
-----	-----------

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	【学力向上】学力向上対策評価シートに示したマイプランを100%達成。学習状況調査結果からも、保護者から児童や教職員の頑張りを評価してもらえた。 【キャリア教育】自分が決めたことや夢・目標を意識して取り組むことができた。ゲストティーチャーを迎える取組を増やし、キャリア教育の充実を図ることができた。 【心の教育】よくあいさつし、友達や下級生への面倒みもいい。素直でよい打上っ子が育っている。いじめの早期発見・早期対応・組織的対応ができている。課題解決について、自ら考えて取り組んだ児童が96%であった。 【健康・体づくり】コロナ禍ではあったが、体力向上のための取組を充実させた。元気に外遊びや体力作りができた児童は95%であった。「早寝・早起き・朝ごはん」の達成率も90%を超えることができた。
------------------	---

2 学校教育目標	夢中になって躍動し 共に たくましく生きる子どもの育成
----------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	◇進んで課題解決を図る子(夢中になって躍動)・・・やる気【知】 ◇思いやりのある子(共にかかわる)・・・がまんの気【徳】 ◇心身の健康に関心をもち、やり遂げる子(たくましく生きる)・・・げん気【体】
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○児童が目的意識をもちながら学び合い、自分の考えを深めたり広げたりする授業を行う。自分の考えを表現する場を授業の中に設定する。	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上 ○なかよし学習を軸とした授業を展開し、授業で「わかった」「がんばった」と肯定的な回答した児童80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・「唐津の学びスタイル」に合わせたなかよし学習の実践を図り、深い学びへつながる授業改善を行う。チェックシートを活用して学期毎に振り返る機会を設定する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 ○特別活動による自主的で実践的な態度の育成	●道徳授業の充実と支持的風土の学級経営により、人権意識や自己肯定感、規範意識の涵養が出来た児童80%以上 ●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対応等)について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上 ●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・児童の実態に合わせた内容を取り上げ、身近な問題として考えさせるようにする。 ・なかよしアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・日々の児童観察を大切に、アンケートに表れていない面についても、気になることの早期発見・早期対応に努める。 ・毎月の生活指導協議会で対応の仕方を協議し、組織的な対応を行う。 ・自己肯定感が高まる取組を行い、積極的に掲示物や放送で紹介するなど広報に努める。 ・外部講師を積極的に呼び込み、キャリア教育を充実させる中で、自分の夢や目標をしっかりと持てるような取組を行う。							尾島・浜中(道徳教育推進教師・人権・同和教育担当・生活主任)  浜中・吉田(生徒指導・いじめ防止担当)  諸岡・永田(キャリアパスポート担当・特活主任)
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」 ○体力向上を意識した取り組み	●「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣ができていると回答した児童85%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○アンケートで「元気に外遊びや体力づくりができた」と答えた児童80%以上	・保護者への啓発と児童への声かけを頻繁に行う。 ・集団下校前の指導の中で交通安全に触れ、安全意識の定着を図る。 ・体育の行事や授業の中で、児童一人一人がめあてを持って体力向上に取り組むことができるようにする。 ・外遊びを日常的に促す。							佐々木・井上(栄養教諭・保健担当)  中尾・田代(保体部)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○年次休暇の積極的な消化のための意識改革	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○個人が持っている年次休暇の消化を25%以上	・時間外勤務時間を月平均30時間以内を目指す。(年間360時間以内) ・業務の精選と効率化を図り、質の高い業務内容を目指す。 ・定時退勤の推奨 ・行事の精選による放課後の時間の確保 ・記念日休暇の積極的取得							松竹・吉田(服務・業務の効率化担当)  松竹・吉田(服務・業務の効率化担当)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○ICT利活用教育の推進	○1人1台タブレット活用の推進	○1人1台タブレットを活用できたと答えた児童と教師80%以上	・教職員間でタブレットの活用法を共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。			

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--